



やまて図書

第2回祖父母と高齢者のための世界祈願日 2022年7月24日

2022年テーマ「白髪になってもなお実を結ぶ」(詩篇 92,15)

7月26日は聖マリアの両親である聖ヨアキムと聖アンナの記念日です。長い間、子どもがいなかった二人ですが祈りが聞き入れられ、生まれた娘にマリアと名付けて大切に育てました。つまり、聖ヨアキムと聖アンナはイエスにとって母方の祖父母です。レオナルド・ダ・ヴィンチは娘マリアと孫イエスを愛に満ちた微笑で見守る聖アンナを描いています。聖母マリアも母アンナの愛のうちにいるのです。

COVID-19のパンデミックは、祖父母や高齢者に大きな影響をもたらし、高齢者の中には孤独のうちに最期を迎えた方もいます。このことを憂いた教皇フランシスコは、2021年、聖ヨアキムと聖アンナの記念日に近い7月第4日曜日を「祖父母と高齢者のための世界祈願日」に制定し、今年が2回目です。教皇は、祖父母と高齢者は社会と教会共同体にとって大切な存在であり、私たちは敬意を表して彼らから活発な高齢期を送ることを学び、高齢者には豊かな知識と経験で若者の助けとなるようにと呼びかけています。直接でもリモートでも、高齢者との面談で存在を互いに喜び合い、共に愛をもって世界に平和を築くようにと祈りに招いています。(参考:カトリック中央協議会 HP、バチカンニュース)

教会暦7月

(抜粋)

- 7月1日(金・記・赤) 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者
- 7月22日(金・祝・白) 聖マリア-マグダラ
- 7月25日(月・祝・赤) 聖ヤコブ使徒
- 7月26日(火・記・白) 聖マリアの両親
聖ヨアキムと聖アンナ
- 7月29日(金・記・白) 聖マルタ、聖マリア、聖ラザロ



娘マリアを膝にのせた聖アンナの微笑は清らかで優しい。親子3代の穏やかな交流が見られるが、イエスを見つめるマリアの表情はどこか憂いを帯びている。イエスが抱む子羊は犠牲の象徴だ。マリアの手は犠牲の運命からイエスを遠ざけようとしているのだろうか。

〈聖アンナと聖母子〉
レオナルド・ダ・ヴィンチ
1512年ころ ルーブル美術館蔵
出典 Wikipedia 聖アンナと聖母子

今月のおすすめ図書 3冊

使徒的勧告「福音のよろこび」

教皇フランシスコ(著)

キリスト教信仰を伝えるための新しい福音宣教」をテーマとした世界代表司教会議(シノドス)後の使徒的勧告。

「熱意と活力に満ちた宣教の新しい段階」への歩みを望む教皇の思いが力強く表現された、希望と励ましに満ちた文書。



使徒的勧告

「喜びに喜べ 現代世界における聖性」

教皇フランシスコ(著)

主からすべてのキリスト者へと向けられた、聖性への招きの考察。秘跡、犠牲、信心業といった、過去の多くの書で説かれる聖化の手段を反復するのではなく、一人ひとりが日常生活の中で、神と隣人への愛によって歩む聖性の道を説く。



(2冊の紹介文:カトリック中央協議会 HP より)

人生を支え、老いを照らす光

森一弘(著)



日本は超高齢化社会に向かっていますが対策や解決は進まず、老いの問題は増すばかりです。また輝ける、輝いていた...でも、現役を退く日は訪れます。老いを受け入れながら日々の充実と幸せを実感するにはどうしたらいいでしょう。

人生を支えるものは何か、自分を照らす光とは...。本書によって何かに気づき、何かを見出せるかもしれません。